養蜂をめぐる情勢

１．	蜜蜂の飼育動向	・・・・・ １
２．	蜂蜜の需給	・・・・・ ２
３．	蜂蜜の流通	・・・・・ ３
４．	蜂蜜の種類等	・・・・・ ４
５．	蜜蜂産品の生産額等	・・・・・ ５
６．	花粉交配用蜜蜂の貢献	・・・・・ ６
７．	施設園芸等における花粉交配用蜜蜂の需給調整	・・・・・ ７
８．	蜜蜂の転飼	・・・・・ ８
９．	農薬による被害への対応	・・・・・ ９
10.	蜜蜂の疾病への対応	・・・・・ 10-11
11.	熊による被害の状況	・・・・・ 12
12.	外来種であるツマアカスズメバチへの対応	・・・・・ 13
13.	養蜂関係予算（養蜂等振興強化推進事業）について	・・・・・ 14
（参考１）	養蜂振興法の施行について（農林水産省畜産局長通知）のポイント	・・・・・ 15-16
（参考２）	蜜蜂の適切な飼育等の周知	・・・・・ 17

令和８年11月

農林水産省 畜産局

１．蜜蜂の飼育動向

- 蜜蜂の飼育戸数は、平成30年以降増加傾向で推移。蜂群数は、近年ほぼ横ばいで推移（平成25年の増加は、平成24年の法改正により、届出義務を業として蜜蜂の飼育を行う者以外の蜜蜂の飼育を行う者にも拡大したことによるもの）。
- 令和８年の蜜蜂の飼育戸数は12,131戸、蜂群数は24万群（１月１日時点の調査）。

蜜蜂飼育戸数、蜂群数

（単位：戸、千群、群／戸）

区　分	H24年	H25年	H28年	H29年	H30年	R元年	R２年	R３年	R４年	R５年	R６年	R７年	R８年
飼育戸数	5,934	8,312	9,452	9,395	9,578	9,782	10,021	10,529	11,276	11,416	12,061	12,164	12,131
10群未満戸数	3,286	5,167	6,351	6,275	6,473	6,705	6,952	7,387	7,988	8,110	8,635	8,689	8,740
10群以上戸数	2,648	3,145	3,101	3,120	3,105	3,077	3,069	3,142	3,288	3,306	3,426	3,475	3,391
うち日本蜜蜂飼育戸数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6,094	6,584
蜂群数	184	204	212	213	213	215	213	224	242	237	236	241	240
うち日本蜜蜂の蜂群数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	28
平均蜂群数	31.1	24.5	22.4	22.8	22.2	22.0	21.3	21.3	21.5	20.8	19.6	19.8	19.8

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）
注１：飼養戸数、蜂群数、平均蜂群数は１月１日時点の数を集計した値である。
注２：１蜂群とは、女王蜂１匹と約２万匹の働き蜂で構成された巣箱１箱を指す。
注３：R７年データについて遡り修正。（R８.11更新）

蜜蜂飼育戸数等の上位10県（令和８年１月１日現在）

区　分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	計
飼育戸数	長野県	岐阜県	福岡県	千葉県	静岡県	愛知県	広島県	長崎県	兵庫県	鹿児島県	全国
戸	590	494	485	470	411	400	399	398	388	382	12,131
比率（%）	4.9	4.1	4.0	3.9	3.4	3.3	3.3	3.3	3.2	3.1	100
蜂群数	沖縄県	長野県	鹿児島県	熊本県	千葉県	福岡県	和歌山県	長崎県	静岡県	福島県	全国
千群	22.3	19.0	14.0	13.9	11.8	11.1	10.9	7.4	7.2	7.2	240
比率（%）	9.3	7.9	5.8	5.8	4.9	4.6	4.5	3.1	3.0	3.0	100

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

２．蜂蜜の需給

- 蜂蜜の国内生産量は、令和７年は天候不順による開花時期のずれ等が採蜜に影響し、例年を下回り２千４百トン。
- 生産上位５県で総生産量の約４割を生産。
- 令和７年の国内消費量は約５万４千トンであり、自給率は約５％。
- 令和７年の蜜源植物の面積は、アカシア、シナの利用面積が減少し約79千ヘクタール。

蜂蜜の生産量、輸入量及び消費量

（単位：トン、％）

区　分	H29年	H30年	R元年	R２年	R３年	R４年	R５年	R６年	R７年
生産量	2,827	2,826	2,911	2,929	2,779	2,549	2,636	2,660	2,431
輸入量	42,821	44,521	44,788	49,348	47,132	47,276	41,924	45,416	51,644
うち中国	29,818	31,512	30,518	33,821	30,887	30,782	27,929	32,371	36,765
比率	69.6	70.8	68.1	68.5	65.5	65.1	66.6	71.3	71.2
輸出量	21	18	10	18	33	20	22	22	24
消費量	45,627	47,329	47,689	52,259	49,844	49,805	44,539	48,054	54,051
自給率	6.2	6.0	6.1	5.6	5.5	5.1	5.9	5.5	4.5

出典：貿易統計（輸入量、輸出量）、
畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

蜜源植物の面積

（単位：千ﾍｸﾀｰﾙ）

区　分	H29年	H30年	R元年	R２年	R３年	R４年	R５年	R６年	R７年
みかん	35.5	35.6	35.7	34.9	30.8	31.3	29.5	29.9	29.7
れんげ	6.6	4.2	4.2	3.7	3.0	2.7	2.6	2.6	2.6
アカシア	6.7	5.4	4.6	3.8	6.4	7.6	4.3	13.9	4.4
りんご	22.4	21.4	21.2	21.4	21.3	1.6	1.6	1.6	1.6
その他	60.8	52.0	51.2	43.7	55.8	56.6	42.9	54.2	40.6
合　計	132.0	118.6	116.9	107.5	117.2	99.8	80.9	102.3	78.9

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）
注１：各県が１月から12月に蜜源として利用した面積として把握しているものを集計。
なお、一部の県では調査の中止や再開があるため、数値に連続性がないことに留意。
注２：R５、R６年データについて遡り修正。　（R８.11更新）

蜂蜜生産量の上位10県（令和７年）

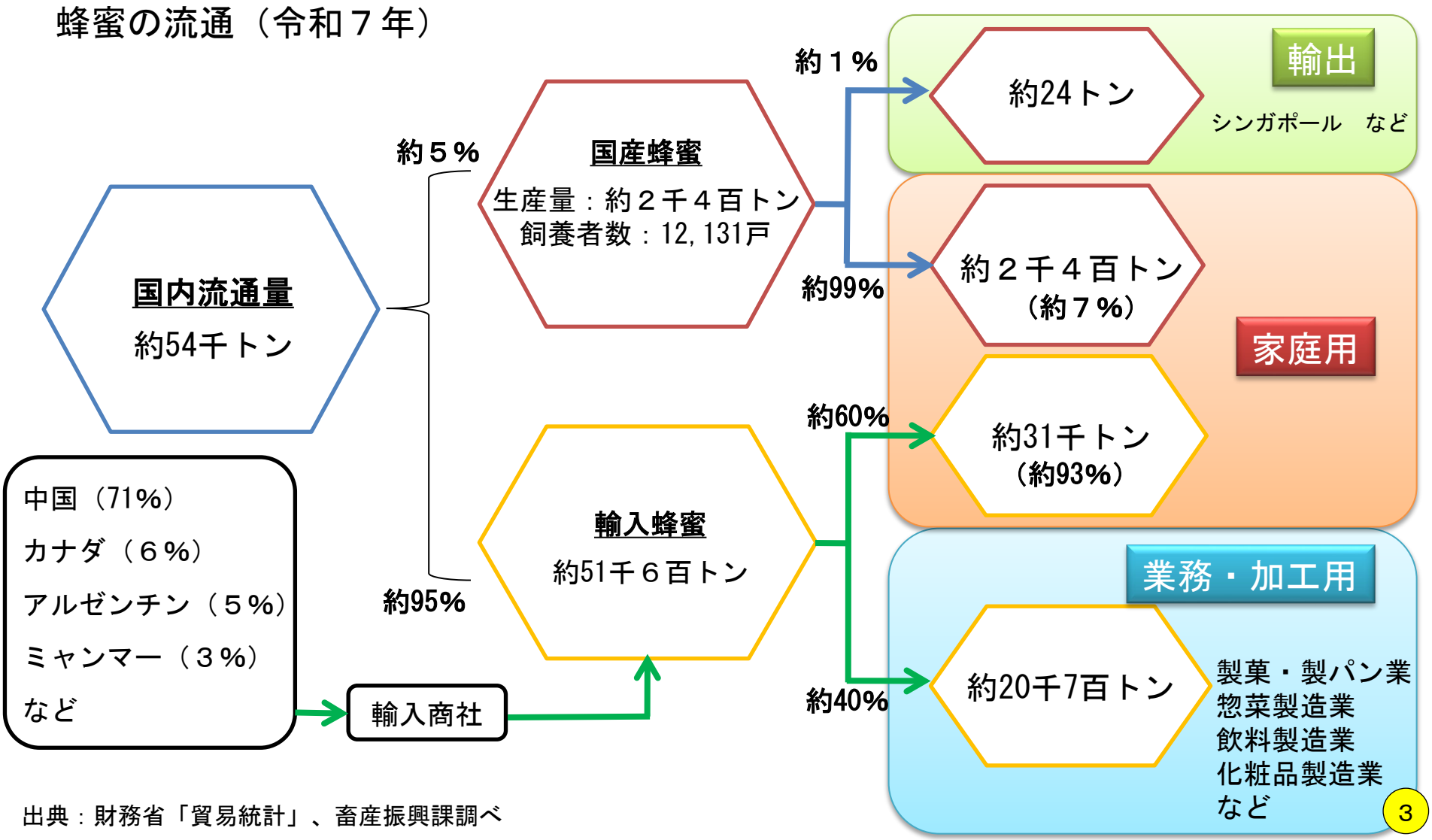
（単位：トン、％）

区　分	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位		計
	熊本県	北海道	長野県	秋田県	青森県	和歌山県	愛知県	静岡県	福岡県	岩手県		全国
生産量	250.5	216.6	209,2	200.9	126.3	120.0	107.7	95.1	92.8	80.1		2431
比　率	10.3	8.9	8.6	8.3	5.2	4.9	4.4	3.9	3.8	3.3		100

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

３．蜂蜜の流通

- 国産蜂蜜のほぼ全てが家庭用仕向け。
- 輸入蜂蜜は約60%が家庭用、約40%が業務・加工用仕向け（製菓・製パン、化粧品等）。



出典：財務省「貿易統計」、畜産振興課調べ

４．蜂蜜の種類、色、価格

- 蜂蜜の種類は、蜜源の花により分類され、例えばアカシアの花の蜜はアカシア蜜として販売される。
- 蜂蜜の色は、蜜源の花の種類によって淡黄色から黒褐色まで様々。
- 価格については、国産は生産コストの違いもあり、中国産蜂蜜の数倍。
- 主な輸入先は中国であり、総輸入量の約７割を占めている。

種類・色



トチの花	レンゲの花	アカシアの花
		

価　格

・国産蜂蜜卸売価格

平均2,200円/kg（1,500円/kg　～　2,900円/kg）

出典：（一社）日本養蜂協会からの聞き取り（令和７年）

・外国産蜂蜜の輸入価格

令和７年	数量（t）	価額（億円）	CIF価格（円/kg）	課税後（円/kg）
合　　計	51,644	225	436	494
中華人民共和国	36,765	98	267	335
カナダ	3,183	25	777	784
アルゼンチン	2,715	11	411	516
ミャンマー	1,784	5	290	290
ハンガリー	1,295	12	938	945

出典：財務省「貿易統計」

注：課税後価格は天然蜂蜜のWTO協定税率（25.5%）、TPP11税率（3.1%（１～３月）及び0%（４～12月））等により算出。

５．蜜蜂産品の生産量・生産額

- 令和７年の蜜ろうの生産量は約14トン。
  （蜜ろうは、ろうそく、ワックス、化粧品、クレヨン等の原料として使用される。）
- 令和７年のローヤルゼリーの生産量は約２トン。
  （ローヤルゼリーは、健康食品や化粧品の原料として使用される。）
- 蜂蜜及び蜜蜂産品の国内生産額は、推定77億円。このうち花粉交配用蜜蜂は約23億円と約30%を占める。

蜂蜜以外の生産物の生産量　　（単位：kg）

種　類	H29年	H30年	R元年	R２年	R３年	R４年	令和５	令和６	令和７
蜜ろう	22,316	22,881	21,769	22,858	18,699	14,016	14,857	12,129	13,530
ローヤルゼリー	2,419	2,497	2,363	2,991	2,083	2,851	2,975	2,383	2,170

出典：畜産振興課調べ（各都道府県からの聞き取り）

種　類	生 産 量	単 価	生 産 額（推定）
蜂蜜	2,431トン	2,200円/kg	5,348百万円
ローヤルゼリー	２トン	125,000円/kg	27百万円
蜜ろう	14トン	800円/kg	11百万円
花粉交配用蜜蜂（※）	80千群	28,000～30,000円/群	2,231～2,391百万円
合　計			7,617～7,766百万円

出典：畜産振興課調べ（生産量は各都道府県からの聞き取り、単価は（一社）日本養蜂協会からの聞き取り）
（※）　花粉交配用蜜蜂の単価は、いちごの花粉交配用（３～４枚の巣板を１群として使用）を参考とした。